



名称	浅野忠長の墓
よみがな	あさのただながのはか
指定	市指定
種別	史跡
種類	遺跡
所在地	本町
所有者	宗光寺
員数	1基
指定年月日	昭和36年(1961)4月28日
構造形式	石造 五輪塔
法量	長さ300cm
時代	江戸時代
公開状況	常時公開
交通案内	JR三原駅から西北へ約800m

【解説】

浅野忠長(1592～1660)は、三原浅野家2代目城主で甲斐守かいのかみともいいます。初代ただよし忠吉には男の子がいなかったので、忠吉の二女の子(忠長)を養子に迎えてあとを継がせました。忠長は、慶長19年(1614)には大坂冬の陣、元和元年(1615)には大坂夏の陣に父忠吉とともに従軍しています。また、中央や地方でいろいろな事業にたずさわり、多くの功績がありました。

元和8年(1622)には頼兼新開よりかねしんがいを、また、正保元年(1644)には横山新開よこやましんがいを拓き、寛永6年(1629)と同14年(1637)には糸碓八幡宮ひらを修理しています。

この墓は、五輪塔で石柵の中に置かれています。